

有志舎の新刊です。2019年12月下旬刊行

沖縄の基地と軍用地料問題

—地域を問う女性たち—

桐山節子 著

A5判・ハードカバー・304ページ 本体価格 6,800円

「女性の権利は黙っていてもつかめない」。

日常生活の問題から基地被害を考え、経済的な権利、地域の政治に参加する権利として軍用地料問題をとらえ直した女性たちの闘いを描き出す。

(目次)

序章	女性の自己決定と地域
第1章	沖縄の近代とその道程
第2章	軍用地の成立と利益構造
第3章	基地と人の移動
第4章	基地の町と地域社会構造
第5章	軍用地料をめぐる女性運動
第6章	ウナイの会と女性運動の可能性
終章	生活の問題を問う女性たち

〈著者紹介〉

桐山節子（きりやま せつこ）：同志社大学人文科学研究所嘱託研究員

～版元から～ 沖縄県には膨大な面積の米軍基地があり、地権者には日本政府から軍用地料という賃貸料が支払われています。しかし、2002年12月、沖縄本島北部・金武町の女性たちは、コミュニティ内の男性世帯主だけに軍用地料が配分される仕組みの不当性を訴えて裁判を起こしました。本書は、近現代沖縄の歴史をふまえ、米軍基地・ジェンダー・土地などをめぐって複雑な利害関係を抱え込まれた地域社会と、それを変えるべく闘った女性たちの姿を通して、今も沖縄を分断しつづける日本の矛盾を浮き彫りにします。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	沖縄の基地と軍用地料問題 —地域を問う女性たち— 桐山節子 著	日本史（現代） 政治・ジェンダー
	ご担当	A5判・ハードカバー、304ページ 本体価格 6,800円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-35-4 C3031	

ご注文は (株) JRC (人文・社会科学書流通センター) へ

返品条件付注文です。

FAX: 03-3294-2177

電話: 03-5283-2230